

## 感情と支配

■ 感情と同情という言葉があるが、感情の中には細かな分類があり、単に悲しいだけで終わってしまったら先に発展しない。それをそのまま共有してしまうと類は友を呼び一緒に不幸になってしまう。悲しいを全部一つのくりに収めてしまうと操作・影響・支配とのまれてしまうから、感情もロジックで使い分けないと生産的にはならない。生きていれば多くの人間と関わり、その人達の役に立つことが信頼関係を築く上では大事で、一時の好き嫌いでものが成立することは無い。即ち感情なんてものは一時のもので人との繋がりを感情や同情でつくるものではないということを理解する。自分の人生を思うように生きて行こうとすると、人に支配されない環境を自分でつくること。仕事に対する生きがいやそこにある重要性は自分で決定出来ることで、自分の欲や利益を満たすことより誰の役に立っているか考えてみることに。

・日本で離婚調停の裁判にまで行くと離婚が成立する理由が殆ど限定されていて不貞と精神疾患以外に無い。裁判になったら性格の不一致や価値観の相違で離婚が認められることは無いから離婚はどっちもどっちで人の愛情なんてものは4年経つと消えるもの。

■ 人生はトントンになるように出来ていて、入って来る金があれば出て行く金がある。人に煽てられるのは承認されていることだから嬉しいが、必ずその先でこんなはずじゃなかった…という事になる。組織の中で実力が伴ってそのポジションに立つのは良いが、煽てられて上に上がると、そういう時が来て、その人が不幸になるから人事は大枠を決めたら細分化して厳密に行う。人生はトントンだと認識して地道に相手の事を考えて生きて行けば良いようになるが、この感覚を持てる人間になったのは55歳過ぎてからで、その時、初めて引退しようと思え、周りの側近達と一緒に引退することにした。

■ 人を世の中に広めてあげようとする時に、大きなことをしようとするから皆失敗して行く。内側より外に良い協力者が困ってくれるようにならないと自分の手元に良い人が来ないというのが原理原則なのに、順番を間違えて自分と一緒にやる人を先に決めようとするから事業でも失敗する。周りが貴方に協力したいと思ってくれて初めて一緒にやれる良い人が集まる。会った人会った人を良い人だと自分の勝手な判断で入れてしまうからろくなことにならない。自分の欲や主観で晴れがましい所に行ってしまうけど、利害関係のない協力者を寄せ付けることが大事。

・新しい職場に行っても沈黙しながら仕事を黙々とやっている姿に周りが協力してくれて初めて良い人間関係が出来上がり、上にも認められ出世して行く。ちょっと喋ってその人を良い人だと思い色々話していると、その人はただのスピーカーで、話したこと全て周りに流されてしまうのが落ちで人間不信になって終わってしまう。仕事も人間関係も最後のひねり技が要る。普通にやっていたら良い人だね！…で終わってしまう。役に立つ人だね！…役に立つ物だね！…と言われるには、最後のひねり技が大事。

・食品業界でオリーブオイルを売るのに食用で売っても既存の物が溢れているから違う形で切り込んだ方が市場が広がる。「オリーブの実から抽出した油」と言い換えて、最後に食用にもなりますと付け加えた方が売れる幅が広がる。

■今までの自分を捨てられないから人からのアドバイスを素直にやらず自分のフィルターを通して変えてしまう。何でも自分の考え方で世の中を渡って行こうとすること自体間違いで、素直に実行すると良い方に繋がって行くはず。人間が自分の考え以外で行動する時は魔が差した時だけ。考え方を変えるから今までと違う行動をして道が開ける。

■早起きは良い事だと言われて起きてもその後の行動がいつもと変わらなければ人に支配されているだけ。早起きする意味が解っていて、起きてから自分が何をすべきか目的が明確なら支配されない。人間が人を支配して奴隷にしようと思ったら時間で縛る。縛られた時間の中で有効に動き良い時間に見出せたら支配から解放される。世の中に縛られ自分に縛られる二重苦になっている人が多い。起きてから楽しい事があれば早起きする意味があるからそれを自分でつくる。楽しさは自分の為のものではなく人の役に立ち人とその楽しさを共有することに意義があるから支配されない。人と幸せを共有するのに感情で共有することは簡単だが、本当の意味で分かち合える人は共に時間を共有出来ただけ。

・子供が受験に受かっても親は子供と嬉しさを共有していない。共有できるのは子供と一緒に勉強してきた親だけ。子供と一緒に受験の道を辿ってきた親は合格した時に嬉しさと楽しさを共有する。世の中の人間は人と悲しみの共有はするが楽しさの共有をしない。

・人の誕生日に自分には行けないけどお祝いする材料を提供することは出来るから、本人の事を考えて喜んでもらえるようなプレゼントを選んで贈ってあげる。こういう当たり前のことを日常の中で日々行われていないと、自分の日常がやらされている感だけで結局支配される人間になってしまう。

・営業していてもお客様との間で幸せを共有することが本来の目的なわけでその為の苦勞

をする。無理難題であればあるほどクリアしてあげたいと思う気持ちが強くなり解決した時の喜びを共有出来るというのが本来の当たり前姿。相手が不幸になる物を買って儲けていたら人生のどこかで天罰が下る。その天罰が早く来る人はまだ素直な人で、そうでなければ一番あってはならないタイミングで訪れる。

- 我々はとかく周りの人を意識せず、殆どの場合支配されていることに気付かず無機的に生きている。人間に有機的な感情が生まれるのは、相手や自然や物という被写体を意識出来ている時で、これは人間の細胞の基本で水の結晶の話しに繋がる。水は褒めてあげるときれいな結晶をつくってくれるが、悪い言葉を浴びせると結晶が崩れて行く。悪い感情を持つ人はストレスを抱き皆病気になるから人生が良いものにならない。

- 営業で成績を出せる人は良く分かると思うが、相手の気持ちや考え方を引き出せるから全く相手との関係性が無くてもそこに信頼関係を生むことが出来る。こういう人が集まって初めて商いが成り立つ。お客様のニーズに応じてあげようと工夫や提案をするし、人の役に立とうとする良い感情の共有が出来るから、そういう営業マンは仕事以外も合わせて良い人生が送れる。

- 日常生活の中で集団で何かをしようとするならば、初めから自分の先入観だけで分断するのではなく周りの人を尊重してどうやるか考えてないと上手くいかない。上手く行きそうになっても梯子を外されることになる。

以上